

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公開番号】特開 2006-198427(P2006-198427A)

【公開日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【年通号数】公開・登録公報 2006-030

【出願番号】特願 2006-118749(P2006-118749)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 5 日 (2006.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な作動口と、

表示部において図柄の変動表示を行う可変表示装置と、

遊技球が入球できない第 1 の状態と、遊技球が入球可能な第 2 の状態とを切換可能な可変入賞装置とを備え、

前記作動口に遊技球が入球することに基づき前記表示部において図柄の変動表示を開始し、当たり図柄で停止した場合に、前記可変入賞装置を第 1 の状態から第 2 の状態に切り換えて当たり遊技を実行する当たり状態を発生させる遊技機において、

前記可変入賞装置には、その可変入賞装置に入球した遊技球を検出する入球検出手段を 1 つのみ設けると共に、遊技球を前記入球検出手段に案内する案内手段を設け、

景品球を払い出すために駆動制御されるモータを備えた景品球払い出し手段と、

前記入球検出手段により入球が検出された場合に、景品球の払い出し個数を書き込む書き込み手段と、

前記書き込まれている払い出し個数に基づき、前記景品球払い出し手段のモータを所定速度で駆動させて払い出し処理を実行する駆動制御手段と、

前記モータが駆動されている最中に、払い出すべき残数が所定数に達したか否かを判定する残数判定手段と、

前記残数判定手段により払い出すべき残数が所定数に達したと判定された場合に、前記景品球払い出し手段のモータを前記所定速度よりも低速で駆動させて払い出し処理を実行する低速駆動制御手段と、

前記景品球払い出し手段により払い出された景品球の数と、前記書き込み手段により書き込まれた払い出し個数とが一致する場合に前記景品球払い出し手段による払い出しを停止する停止手段と、

前記モータが駆動されている最中に、前記入球検出手段により入球が検出されたか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により、前記モータが駆動されている最中に前記入球検出手段により入球が検出されたと判定された場合に、新たに払い出すべき払い出し個数を再設定する払い出し個数再設定手段とを設け、

払い出すべき残数が所定数に達する前に前記払い出し個数再設定手段により新たに払い出すべき払い出し個数が再設定された場合には、前記駆動制御手段は、再設定された新たに払い出すべき払い出し個数に基づき、前記景品球払い出し手段のモータを低速に切り替えることなく前記所定速度での駆動を継続させて払い出し処理を実行することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

払い出すべき残数が前記所定数に達して前記景品球払い出し手段のモータを前記所定速度よりも低速で駆動させて払い出し処理を実行している最中に、前記払い出し個数再設定手段により新たに払い出すべき払い出し個数が再設定された場合には、前記景品球払い出し手段のモータを前記所定速度に復帰させることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記の目的を達成するため、請求項 1 に記載の発明においては、
遊技球が入球可能な作動口と、
表示部において図柄の変動表示を行う可変表示装置と、
遊技球が入球できない第 1 の状態と、遊技球が入球可能な第 2 の状態とを切換可能な可変入賞装置とを備え、
前記作動口に遊技球が入球することに基づき前記表示部において図柄の変動表示を開始し、当たり図柄で停止した場合に、前記可変入賞装置を第 1 の状態から第 2 の状態に切り換えて当たり遊技を実行する当たり状態を発生させる遊技機において、
前記可変入賞装置には、その可変入賞装置に入球した遊技球を検出する入球検出手段を 1 つのみ設けると共に、遊技球を前記入球検出手段に案内する案内手段を設け、
景品球を払い出すために駆動制御されるモータを備えた景品球払い出し手段と、
前記入球検出手段により入球が検出された場合に、景品球の払い出し個数を書き込む書き込み手段と、
前記書き込まれている払い出し個数に基づき、前記景品球払い出し手段のモータを所定速度で駆動させて払い出し処理を実行する駆動制御手段と、
前記モータが駆動されている最中に、払い出すべき残数が所定数に達したか否かを判定する残数判定手段と、
前記残数判定手段により払い出すべき残数が所定数に達したと判定された場合に、前記景品球払い出し手段のモータを前記所定速度よりも低速で駆動させて払い出し処理を実行する低速駆動制御手段と、
前記景品球払い出し手段により払い出された景品球の数と、前記書き込み手段により書き込まれた払い出し個数とが一致する場合に前記景品球払い出し手段による払い出しを停止する停止手段と、
前記モータが駆動されている最中に、前記入球検出手段により入球が検出されたか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段により、前記モータが駆動されている最中に前記入球検出手段により入球が検出されたと判定された場合に、新たに払い出すべき払い出し個数を再設定する払い出し個数再設定手段とを設け、
払い出すべき残数が所定数に達する前に前記払い出し個数再設定手段により新たに払い出すべき払い出し個数が再設定された場合には、前記駆動制御手段は、再設定された新たに払い出すべき払い出し個数に基づき、前記景品球払い出し手段のモータを低速に切り替えることなく前記所定速度での駆動を継続させて払い出し処理を実行することをその要旨としている。

また、請求項 2 に記載の発明においては、請求項 1 に記載の遊技機において、払い出す

べき残数が前記所定数に達して前記景品球払い出し手段のモータを前記所定速度よりも低速で駆動させて払い出し処理を実行している最中に、前記払い出し個数再設定手段により新たに払い出すべき払い出し個数が再設定された場合には、前記景品球払い出し手段のモータを前記所定速度に復帰させることをその要旨としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

本発明では、可変入賞装置に入球した遊技球が、案内手段によって、可変入賞装置に 1 つのみ設けられた入球検出手段へ案内され、入球検出手段により、遊技球の入球が検出される。そして、入賞球検出手段により入球が検出された場合に、書き込み手段によって景品球の払い出し個数が書き込まれる。書き込まれている払い出し個数に基づき、駆動制御手段によって、景品球払い出し手段のモータが所定速度で駆動されて払い出し処理が実行される。さらに、前記モータが駆動されている最中に、払い出すべき残数が所定数に達したか否かが残数判定手段によって判定され、残数判定手段により払い出すべき残数が所定数に達したと判定された場合に、低速駆動制御手段によって、前記景品球払い出し手段のモータが前記所定速度よりも低速で駆動させられて払い出し処理が実行される。そして、景品球払い出し手段により払い出された景品球の数と、前記書き込み手段により書き込まれた払い出し個数とが一致する場合に、停止手段により前記景品球払い出し手段による払い出しが停止される。モータが駆動されている最中に、入賞球検出手段により入賞が検出されたか否かが判定手段によって判定される。判定手段により、モータが駆動されている最中に入賞球検出手段により入賞が検出されたと判定された場合に、払い出し個数再設定手段によって、新たに払い出すべき払い出し個数が再設定される。そして、払い出すべき残数が所定数に達する前に払い出し個数再設定手段により新たに払い出すべき払い出し個数が再設定された場合には、駆動制御手段は、再設定された新たに払い出すべき払い出し個数に基づき、景品球払い出し手段のモータを低速に切り替えることなく前記所定速度での駆動を継続させて払い出し処理を実行する。

また、請求項 2 に記載の発明によれば、払い出すべき残数が前記所定数に達して前記景品球払い出し手段のモータが前記所定速度よりも低速で駆動させられて払い出し処理が実行されている最中に、前記払い出し個数再設定手段により新たに払い出すべき払い出し個数が再設定された場合には、前記景品球払い出し手段のモータが前記所定速度に復帰させられる。